

皮膚科学会総会を経てこの号がお手元に届くのは梅雨時でしょうか。皮膚科の臨床5月臨時増刊号は「美しく老いるために—高齢化に備える皮膚科診療—」でした。細胞レベルから皮膚の老化機序、健康寿命や認知症の考え方、高齢者診療の注意点とともに高齢者に多い皮膚疾患、すなわち褥瘡、光老化、良性・悪性腫瘍、各種感染症、水疱症や難治性皮膚痒痒症などを網羅してその具体的対応法などを系統的に、かつ実臨床上に有用な情報として提供できているように思っています。すでに多くの先生方にお目通しいただいているかもしれません。街のクリニックでも高齢者の受診頻度が多いように思いますし、私など高齢者、といっても若き高齢者のつもりですが、を含めてその人口比率が増大する今日、患者さんが美しく老いるための皮膚科医の準備、勉学の必要性が痛感されます。もっとも私などは自身が美しく老いるのは難しいようにも思っています。美しい老いには心の占める部分も大きいように考えています。そここのところが一番の難題かもしれません。

昔から「生老病死」と4つの大きな苦しみがいわれています。あまり難しくは考えないことにして老、病、死はともに結局は生の苦しみに他ならないようです。老いて身体・精神機能が衰える、病で身体・精神機能が発揮できない、あるいは痛みに苦しむなどもありましょうが、他にも諸々生きていればこそその苦しみが溢れています。老いも常日頃感じるところですが、身近には、こうしてPC作業の打ち込みミスがとみに最近増えているのも小さな徴候でしょう。新聞や各種媒体には高齢者の施設などへの入所がなかなか難しい、あるいは入所に多額の費用が必要など、宣伝が盛んですし、日常生活、食生活や健康維持のアドバイス、さらには税金対策なども耳に眩しいようです。お寺さんや、埋葬法までもいろいろいわれますし、まあある意味ではお節介な面がなきにしもあらずですが、一方でそんなところまで世話される可能性のあるよい世の中になっているのかもしれませんが、「辻堂に死せる人あり麦の秋」(蕪村)のようなこういう時代とは大きく社会生活の条件が違ってきていますが、一方で人間の本質的、中核的な生きる所は微塵も変わっていないようにも思えます。流され、流れゆく我が身を「逝くものはかくのごときか昼夜を舍かず」と諦観できるとよいのですが…。どうも話が湿っぽくなってしまいました。夏に向かう時節、いまから少し鋭気を養いましょう。

夏前の今月号の特集は皮膚付属器腫瘍です。付属器腫瘍は多岐に亘り、また良性、悪性を区別するので、臨床診断だけでなく病理診断もしばしば難しい腫瘍群です。手術をするしない、どういう手術をするなど治療にも専門性が要求されるように思います。炎症性皮膚疾患のようなコモンな感じの疾患群ではありませんが、この特集号で知を深めて診療に役立てたいと考えています。梅雨明けの暑い夏に備えて下さい。

(大塚藤男)

— 顧 問 —

肥田野信 大原國章

— 編集委員 —

大塚藤男 土田哲也 五十嵐敦之 相馬良直 林 伸和

「皮膚科の臨床」第60巻 第7号 6月号

2018年6月1日発行 (毎月1回1日発行)

定 価 (本体 2,700 円 + 税)

年間購読料金 定価 (本体 42,100 円 + 税)

〔年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発 行 所 金原出版株式会社

発 行 者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印 刷 所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-3513-6969, FAX: 03-3513-6979, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。